

## ● 子どもに流れる“ゆっくりな時間”

神山小PTA

息子が「今日まだ木曜日なんだよ」とぼやいた朝がありました。私には「もう木曜日」の朝。その違いにふと考えさせられました。子どもの時間の流れは、大人とはやっぱり違うのだなと。

思い出したのは、自分が高校生のときに先生から聞いた言葉。「私の1年と君たちの1年の感覚は“1/年齢”。感じ方が全然違うんだよ。もっと今を大事にしろ」。大人になって、これが“ジャーネーの法則”と呼ばれるものだとなり、改めて腑に落ちました。

今、10歳の息子の1年は人生の10分の1。40歳の大人に置き換えると、1年が4年分。同じ365日でも、子どもにとってはとても長く、濃い時間が流れているのだと思います。

最近は息子も一人でゲームやテレビを楽しめるようになり、放っておくとそのまま時間が過ぎていきます。でも子どもの1時間が大人の4時間分の価値だと思うと、その時間をできるだけ豊かに過ごしてほしいと感じます。

同時に、自分が忙しさに流されて、息子との時間がだんだん疎かになってきていることにも気づきました。この寄稿文を書かせていただいたことで、立ち止まるきっかけをもらえたように思います。これからは息子の“ゆっくり流れる時間”に、もう少し寄り添っていきたく思います。



神山小 作品展に出品

## ● ケセラセラ

末広小PTA

6年生の娘はMrs. GREEN APPLEが大好きです。3人組ロックバンドである彼らの曲は、自分に自信を持たず、生きづらさを感じている人の心を、そっと優しく撫でてくれるような気がします。

私が今でも思い出す、6年生の時の担任の先生がいます。私は自分の家があまり好きではない子どもでしたが、先生は私の長所を伸ばし、認め、穏やかに受け止めてくれました。だから小学生だった私は、自分のことは好きでいられたのだと思います。

私たちは、どんなふう生まれ、どんなふう人生を終えるのか選ぶことはできません。でも、どう生きるかは自分で決めることができます。子どもたちには、自分自身を大切に、自分のことを大切に想ってくれる人を大切にしてほしいと願っています。

また、誰にも迷惑をかけないのであれば、臆せず、やりたい事にチャレンジしてほしいです。手を抜かず、一生懸命努力した経験はきっと心の芯を強くします。これから先、もし理不尽な辛い出来事に直面しても、心の強さはまた前に進む力になるはず。そして、周りの人から受け取った愛情や思いやりの気持ちを、今度は誰かに届けられるように。

良い事ばかりではないけれど、それでも、やっぱり生きることは楽しい、すばらしいことなのだと思っていてほしいです。子どもたちの未来が、愛おしい「ケセラセラ」で溢れることを願っています。



修学旅行 座禅の写真

## ● 「好き」が育む子どもたちの成長

中部中PTA

長男はピアノが大好きです。以前は教室に通っていましたが、決められた課題をこなすよりも、自分の弾きたい曲を自由に弾くようになった今の方が、自然とピアノに向かう時間が増えました。納得するまで繰り返し鍵盤に向かう姿を見ていると、上達の早さ以上に、「好き」という気持ちが何よりの原動力なのだと思感させられます。

今年中学校に入学した娘は、幼い頃から大の読書家で、今では家族の誰よりも物知りになりました。最近では読むだけにとどまらず、自ら物語を書くようになっています。本を通じて育んだ豊かな表現力を糧に、一作一作を最後まで楽しみながら書き上げてほしいと願っています。

小学生の次男は、絵を描くことに夢中です。誰に教わることもなく、いつの間にか細部まで丁寧に描き上げる力をつけていました。もっばら「危険生物」ばかりを描いていますが、その集中力には目を見張るものがあります。描いている最中は、隣で話しかけても全く生返事すら返ってこないほどです(笑)。

三者三様の子どもたちの姿から、好きなことに没頭する時間こそが、確かな成長につながるのだと教えられました。親の役割は、結果を急かすことではなく、子どもが夢中になれる時間を安心して過ごせる「環境」を整えることなのでしょう。これからも、彼らの中に芽生えた「好き」という気持ちを大切に見守っていきたく思います。



合唱コンクール 心ひとつに